

紅葉の靈山寺と阿波踊りを楽しむ

秋のバスツアーに41人参加

秋の親睦バスツアーは、快晴に恵まれた11月13日、鳴門にある紅葉が始まった靈山寺（りょうぜんじ）や徳島の阿波踊り会館で古風な踊りや現代の踊りを楽しみました。

お遍路さんと阿波踊り

● 萩尾映子（健康福祉 23期）

11月13日晴天に恵まれ、ほぼ満席の大型バスは海の上を一直線、明石海峡大橋と大鳴門橋を走り抜け、四国徳島へと向かいました。

最初の目的地は、鳴門市にある高野山真言宗「靈山寺」。奈良時代に行基により開創、四国八十八か所の第一番札所として地元では一番さんと親しまれているお寺です。放生池や多宝塔、縁結び観音立像を見ながら本堂へ。龍が描かれた天井から吊り下げられた燈籠の灯りがとても幻想的でした。

四国遍路の入り口となるのが発心の門。古より多くのお遍路さんが、この門をくぐって長い修行の旅へと出発したのです。今、それぞれの決意と想いが込められた場所に立つと、一層感慨深いものがありました。



靈山寺の山門



「阿波の風」による踊りの実演

徳島のホテルで昼食の後「阿波おどり会館」へ。そこでは会館専属の連「阿波の風」による、阿波おどりの解説と実演がありました。

2拍子のリズムとヤットサー・ヤットサーの掛け声のもと、ダイナミックに面白おかしく踊る男踊りと、艶っぽく上品に踊る女踊り。そして、踊り子の引き立て役として欠かせないのが「鳴り物」です。主旋律を吹く篠笛と、歯切れの良い三味線。豪快な音で踊り子や観客を高揚させる大太鼓と、軽快なリズムで囃し立てる締太鼓。全体をリードする鉦が指揮者の役目を果たすとのことでした。

毎年8月、本場徳島の阿波おどりは日本有数の一大イベントとして知られ、国内外から100万人を超える観光客が訪れるそうです。会場を出てからも、賑やかに踊る姿と軽快な鳴り物の音が身体から離れませんでした。

最後のお楽しみは名物「たこせんべい」。たくさんの試食の中から好みの味を選び、お土産いっぱいにして帰路につきました。初めて参加した北区会のバス旅行、久しぶりに日常を離れた楽しい一日となりました。

（写真：芦田義和）

マジックで観客楽しく

星和台文化祭に2人出演

相馬範久さん 南形公子さん

星和台連合自治会（北区）の文化祭が11月3日、自治会ファミリーホールで開催され、<グループわ>からマジッククラブの2人が招かれ、約70人の観客の前で妙技を披露しました。

出演したのは相馬典久さん（クラブ会長・20期）と南形公子さん（13期）。いずれも午後のステージ後半に登場。相馬さんは、生卵を割って帽子に入れ、客席の少女にかぶせて、客席をあっという間に驚かせるマジック。南形さんは、今や時の人・ドジャースのショウヘイ君がユニフォーム姿で現れ、演技するというマジックと、絵に描いた馬が、本物の人参やピーマン、バナナを次々に食べてしまうというマジックで客席を沸かせた。

ボランティ
アの現場



最後に相馬さんが「祝・星和台」の大きな文字が浮ぶ布をパツパツと出すと、客席から大きな拍手と「おおっ」という歓声と拍手が。

マジックショーは約30分で終わったが、観客席からは拍手と共に、「面白かった、楽しかった」という声が飛び交った。

星和台文化祭は毎年、開催されており、合唱、楽器演奏、詩吟、カラオケ、ダンスなどの演技のほか、団体や園児たちの書、絵画、絵手紙などの作品展示・販売。模擬店など数多くの催しが開催され終日、にぎわいました。マジッククラブは、昨年も出演しています。

（取材・南形徹、撮影・横山謙一）【写真説明】

- ㊦南形さんの演技
- ㊧㊨相馬さんの演技
- ㊩出演の2人

車いすテニス国際大会

ダンロップコーベオープン（車いすテニス国際大会）は、4月23日から27日まで三木ビーンズドームで開催されます。

今年から支援窓口が、北区会からグループわ（本部）になり、選手の送迎・付添（空港～ホテル、ホテル～ビーンズドーム）を行います。

後日、グループわ から支援者の募集がありますのでご協力をお願いします。

趣味の会合同作品展

趣味の会（書道の会、絵手紙の会、写真の会、折り紙の会）の第4回合同作品展が、10月20日から24日まで、しあわせの村本館2Fギャラリーで開催されます。作品展には、書道の会5人、絵手紙の会12人、写真の会8人、折り紙の会8人が出展します。

小野の桜つつみ回廊を歩きませんか！

北区会春のウォーキングは、4月2日（水）に、「おの桜つつみ回廊を歩く」を計画しました。

兵庫県土木整備部が、平成3年度から平成12年度にかけて、瀬戸内海から日本海を結ぶ総延長約170 kmの河川沿い（武庫川～篠山川～加古川上流～円山川）を約5万本の桜でつなぐ「ふるさと桜つつみ回廊」を整備しました。県内の河川には多くの桜の名所があり、市民の憩いの場所となっております。その中でも、おの桜つつみ回廊は、西日本最大級の規模を誇り、加古川沿いに全長約4kmにわたって、上流から早咲きの大島桜、江戸彼岸や染井吉野、そして遅咲きの紅枝垂れ桜、思川桜などの5種類、約650本の桜が美しく咲き、長い期間楽しめる桜の名所です。

特に、おおべの逆さ桜は、回廊の途中、晴れた風のない午前中、田んぼの水面に桜並木が映り込む「逆さ桜」が映えスポットで話題となっております。



おおべ（大部）の逆さ桜（令和5年3月31日撮影）

逆さ桜から10分程歩くと、まんが日本昔ばなし「橋の地蔵さん」に登場した地蔵さんがあります。

声優、常田富士夫さんと、市原悦子さんが演じ、「むかあ～し、むかし、今で言う兵庫の小野の辺りに一人のお婆さんが住んでいました。そのお婆さんの家から少し離れたところに、一渉りほどの小川があり、その傍に粗末なお地蔵さんが、これも一人でしょんぼり立っていました・・・」



橋の地蔵さんのモニュメント

からはじまるお婆さんと、一人ぼっちのお地蔵さんの心温まるお話で、TBS系で1989年6月24日に放映され、小野市は1994年に周辺の耕地整備の際、それを記念し、現在の場所にモニュメントを建てました。

昨年は、天候不良で中止となりましたが今年こそ、開花時期と天候に恵まれ、美しい桜の回廊を皆さんと楽しく歩きたいと思っております。

皆様のご参加をお待ちしております。

楽しめる書道になったのは！

道満俊徳（13期）

書とえば、まずは『弘法も筆の誤り』の諺があります。真にその道に秀でた人物ならば、どんな道具を使おうとも優れた成果をあげると言うこと。道具にこだわっている人は、真に腕前のある人ではないことを意味する。空海程の書家名人は筆の良し悪しを問題なく良い作品を仕上げる。だそうですが、その空海が、毛筆は時と処に応じてよく選ばなければならない唐で学んだ筆についての事柄を筆の大小や長短などを文字の筆勢に応じて取捨選択とも言われたそうだ。世間一般では小・中学から始まる習字は読んで字の如し、正しい筆順でお手本通りに書くこと、バランスよく綺麗な整った字を書くのが目的とされている。

さて、私が書道を始めたのは“80の手習い”でした。永年日常的に書いている漢字など簡単だと思って書いて講師の添削戴いたら紙全部に朱筆一杯真っ赤だったのはビックリ！無残・唾然・滅茶苦茶の書からスタートでした。しかし初めの惨め口惜しさ思いつつも続けていると講師の時々褒め言葉に喜び浮かれ今年で6年目に。不思議な事に少し気持ちの変化書く楽しさを感じるようになりました。自分として出来栄の良い書がかければ嬉しさを感じるようです。

また、ただ字を模写しているだけではなく、字に思いや感情を込めて書いたら楽しくなり、もっと好きな言葉格言などを書けるようになりたいと思いつつ書に向かう日々になりました。今や書道は心の癒し、老後を含めて一生の友かけがいの無い存在になれるかな！



（木田育義 16期）

趣味の会で楽しみませんか

絵手紙・はがき絵の会

【活動日】第2木曜日/月1回 13:00~15:30

【活動場所】しあわせの村内

【連絡先】芦田義和 090-1969-6692

メール：y-ashida@kxe.ne.jp

【講師】阿南一馬

【活動内容】毎月の季節にあった野菜・花・果物や自分の描きたいものを持ち込んで、自由に制作する。出来上がった作品を皆にみせ、講師からコメントをもらっています。



書道とペン字の会

【活動日】月曜日/月1回 9:00~12:00

【活動場所】しあわせの村内

【連絡先】道満俊徳 090-8481-1402

メール：dou1311@nifty.com

【講師】藤澤淑子

【活動内容】書の会は楷書から行書にチャレンジ。それは楷書と違い“柔軟に書く”書線の書き方字形の違い、画から画への呼吸を整え読み易く、書きやすく、継続練習できます。自身の格言を独特の書にして楽しめます。



写真の会

【活動日】第3金曜日/月1回 9:00~12:00

野外撮影会 10:00~15:00(日帰り可能範囲)

【活動場所】しあわせの村

【連絡先】木村成男 090-4030-9370

メール：cheng-nan@heart.ocn.ne.jp

【講師】木村成男

【活動内容】奇数月は撮影会、偶数月は教室で反省会を行っています。反省会では、撮影会で撮った写真を見ながら出来栄え、感想等を話し合っ

て技術の向上を図っています。

スマホ・カメラで屋内外の撮影をしませんか・



折り紙の会

【活動日】水曜日/月1回 13:00~16:30

【活動場所】しあわせの村内

【連絡先】道満俊徳 090-8481-1402

メール：dou1311@nifty.com

【講師】榊田貴美子、山下洋子

【活動内容】4千年前から日本伝統文化で全世界の方々に愛され、数学宇宙工学分野で研鑽、高齢者脳トレに最適です。毎回各種「鶴」折りの手馴らし後、四季折々の色紙を制作します。完成品こそ自宅のインテリア。

